

## [自動アライメント補正]

出カイメージの位置を用紙トレイごとに自動で調整します。

用紙の伸縮、断裁精度、用紙の保管状態などによって、出カイメージの位置がずれたときなどに調整してください。

### 補足

- 原稿ガラスでは、背景用シートを用いて調整します。背景用シートは、『リファレンスガイド 付録編』の巻末にある「SIQA\_sheet1\_11x17」、または「SIQA\_sheet1\_A3」を両面プリントしておきます。

## 補正用チャートのプリント

### 1. 調整するトレイに、調整する用紙をセットします。

#### 補足

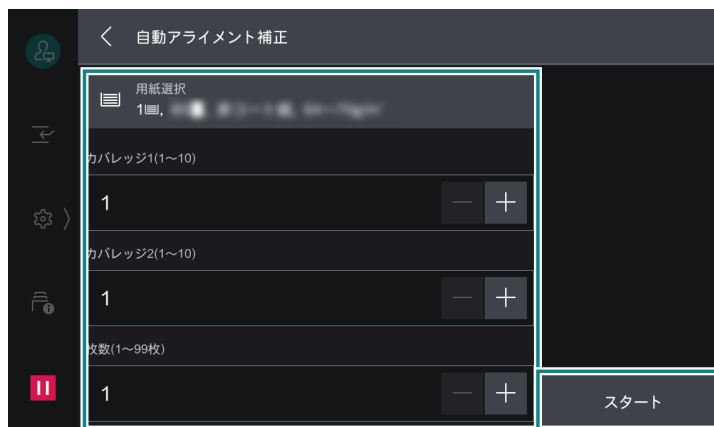
- 補正用チャートをプリントするときは、182 × 182 mm 以上のサイズ of 用紙をセットしてください。

### 2. 機械管理者モードへログインします。

### 3. [設定] > [保守] > [画質調整] > [アライメント補正の設定] をタップします。

### 4. [自動アライメント補正] をタップします。

### 5. 各項目を設定して、[スタート] をタップします。



#### [用紙選択]

手順 1 で用紙をセットしたトレイを選択します。

#### [カバレッジ 1] / [カバレッジ 2]

補正用チャートにプリントする濃度を、おもて面とうら面の 2 種類設定します。

#### [枚数]

プリントするチャートの枚数を設定します。ばらつきの平均値を算出するため、3 枚以上プリントすることをおすすめします。

#### [補正チャートの出力]

すでに補正用チャートをプリントしていて、読み込みだけする場合は、オフに設定します。

### 補足

- 一度に複数の用紙トレイを調整するときは、[用紙選択] で用紙トレイを選択し直して、再度プリントします。

### 6. プリントされた補正用チャートを読み込みます。

#### 6.3 参照

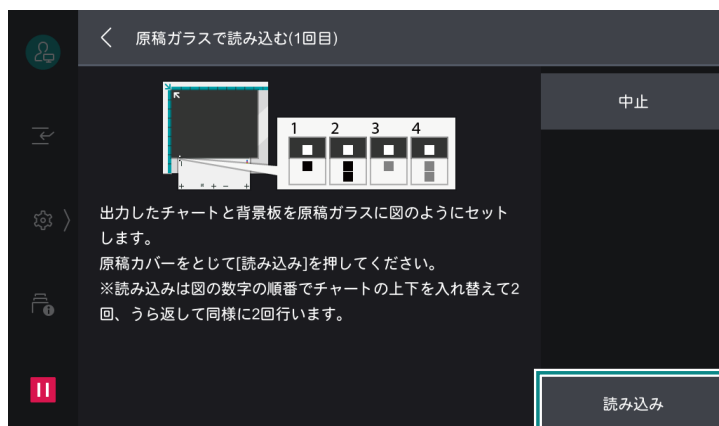
- 「原稿ガラスの調整」(P.160)
- 「原稿送り装置の調整」(P.160)
- 「原稿送り装置の読み込み精度補正」(P.161)

## 原稿ガラスの調整

原稿ガラスで補正用チャートを読み込んで調整します。

1. [原稿ガラスで読み込む] をタップします。
2. 画面の指示に従って、補正用チャートと背景用シートを原稿ガラスにセットし、[読み込み] をタップします。

背景用シートの四角マークと補正用チャートの四角マークを合わせて、おもて面で2回、うら面で2回、読み込みます。



### 補足

- 補正用チャートの四角マーク上部にある線と、背景用シートの下辺を合わせてください。

3. 補正用チャートを複数枚プリントしている場合は、[次のチャートをセットする] をタップして、補正用チャートの枚数だけ読み込みを繰り返します。
4. 補正用チャートの読み込みが完了したら、[調整を開始する] をタップします。
5. 調整値を反映するトレイを選択して、[OK] をタップします。

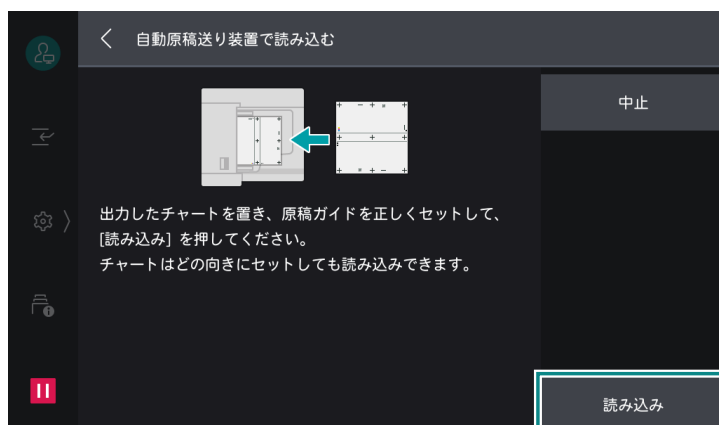
### 補足

- 調整後はサンプルをプリントして、必要に応じて手動で微調整します。微調整については、「[手動アライメント補正]」(P.162) を参照してください。

## 原稿送り装置の調整

原稿送り装置で補正用チャートを読み込んで調整します。

1. [自動原稿送り装置で読み込む] をタップします。
2. 画面の指示に従って、補正用チャートを原稿送り装置にセットし、[読み込み] をタップします。



### 補足

- 複数枚の補正用チャートを同時に読み込むことができます。異なる用紙トレイの場合も、自動でトレイ情報を読み込みます。
- サイズが異なる補正用チャートは、一緒にセットしないでください。

## 3. 調整値を反映するトレイを選択して、[OK] をタップします。

### 補足

- 調整後はサンプルをプリントして、必要に応じて手で微調整します。微調整については、「[手動アライメント補正]」(P.162)を参照してください。

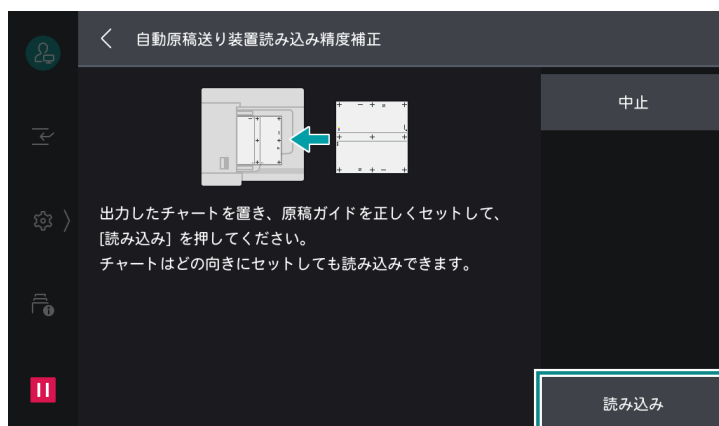
## 原稿送り装置の読み込み精度補正

原稿送り装置の読み込み精度を原稿ガラスの読み込み精度に近づけるように補正します。原稿送り装置を使って初めて自動アライメント補正するときや、原稿送り装置と原稿ガラスとで調整結果に大きな差異が発生した場合に調整をします。

原稿送り装置で補正用チャートを読み込んだあと、原稿ガラスで同じチャートを読み込んで調整します。

## 1. [自動原稿送り装置読み込み精度補正] をタップします。

## 2. 画面の指示に従って、補正用チャートを原稿送り装置にセットし、[読み込み] をタップします。

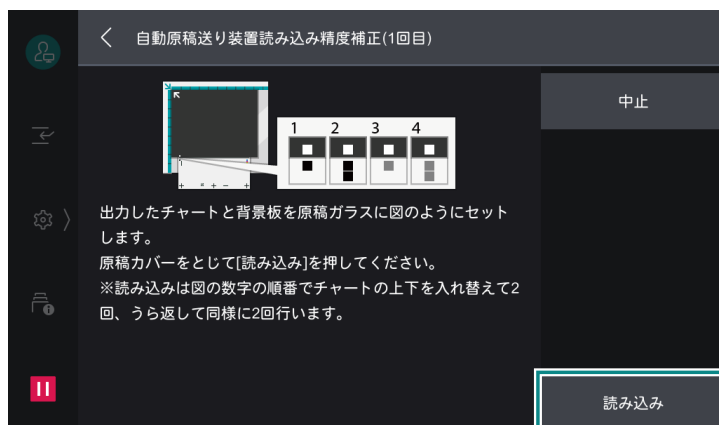


### 補足

- 複数枚の補正用チャートを同時に読み込むことができます。
- サイズが異なる補正用チャートは、一緒にセットしないでください。

## 3. 画面の指示に従って、補正用チャートと背景用シートを原稿ガラスにセットし、[読み込み] をタップします。

背景用シートの四角マークと補正用チャートの四角マークを合わせて、おもて面で2回、うら面で2回、読み込みます。



### 補足

- 補正用チャートの四角マーク上部にある線と、背景用シートの下辺を合わせてください。

4. 補正用チャートを複数枚プリントしている場合は、[次のチャートをセットする] をタップして、補正用チャートの枚数だけ読み込みを繰り返します。

5. 補正用チャートの読み込みが完了したら、[調整を開始する] をタップします。

## [手動アライメント補正]

用紙の特性に合わせたアライメント補正值を名前を付けて登録します。登録した補正值は、用紙トレイの [アライメント補正] で設定できます。

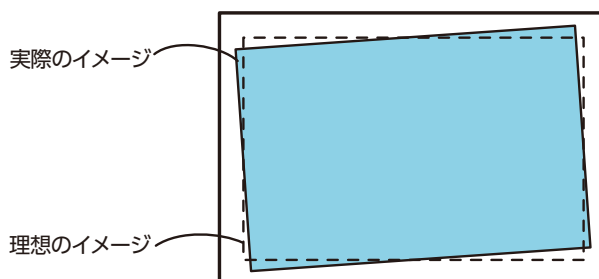
### 補足

- アライメント補正值は、[ユーザー用紙の設定] に割り当てすることもできます。

## 登録可能な補正項目

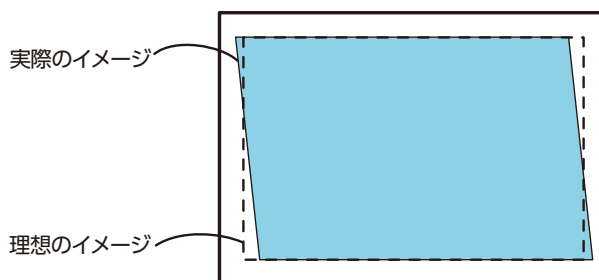
### ■ [斜行度]

副走査方向（用紙送り方向）とイメージの平行度合いを調整します。



### ■ [直角度]

副走査方向（用紙送り方向）のイメージの歪み（平行四辺形）を調整します。



### ■ [X方向倍率] / [Y方向倍率]

副走査方向（用紙送り方向）、主走査方向（用紙送り方向に対して垂直方向）のイメージの倍率を調整します。

